

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	「現代社会」間宮陽介ほか(東京書籍)
補助教材等	「標準高等地図」帝国書院編集部編(帝国書院)
学習上の留意点	
<p>・基礎的な学力を身に付けるため小テストを繰り返すので，予習よりも復習が大切である。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>・本講義は，高専5年間で学習する社会科諸科目の導入的な役割も担っている。したがって，教科書の内容に制約されずに，広く自由な観点から現代社会の諸相を多面的にとらえ，社会科学一般の基本的な考え方やセンスを身に付けてもらえるよう工夫したいと思う。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	シラバスの意図するところが概ね理解できる。	シラバスを確認する
2	地球環境問題	現在、地球環境についてどのような問題が生じているのかを理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
3	地球環境問題	環境問題に対する国際社会の取り組みについて理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
4	資源・エネルギー問題	現在の資源・エネルギー問題と、その将来的な展望について理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
5	科学の進歩と生命倫理	科学技術の進歩によって人の始期・終期に変化が生じてきたこと、およびそれに伴う問題点について理解できる。	教科書を読み、小テストに備える。
6	情報化の進展と生活	情報化社会とプライバシーの権利について理解できる。	教科書を読み、小テストに備える。
7	総括	これまでの学習内容を総括できる。	中間試験に備える。
8	中間まとめ	前期の中間まとめとして試験を実施する。	
9	青年期の特徴	少子高齢化に代表される現代社会における、青年期の特徴を理解できる。	教科書を読み、小テストに備える。
10	青年期の特徴	成年の自己形成過程について理解できる。	教科書を読み、小テストに備える。
11	よりよく生きること	宗教・哲学・科学の世界的な流れを大まかに理解できる。	教科書を読み、小テストに備える。
12	現代の経済	市場経済の仕組みと経済の基礎知識について理解できる	教科書を読み、小テストに備える。
13	現代の経済	日本における経済の歴史を把握する。	教科書を読み、小テストに備える。
14	現代の経済	企業の国際化について理解する。	教科書や過去の小テストを確認し、期末試験に備える。
前期末試験			
15	答案返却・解答解説、後期からの授業概要の説明	試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できるようになる。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	地図帳学習 1	日本の都道府県等を正しく理解する。	地図帳を確認する
17	憲法 1 憲法の意義	近代憲法の制定過程を確認し、「最高法規」としての憲法の意義を理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
18	憲法 2 基本原理	日本国憲法の基本的原理について正しく理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
19	憲法 3 基本的人権	基本的人権のうち、自由権について理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
20	憲法 3 基本的人権	基本的人権のうち、社会権について理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
21	憲法 4 統治機構	日本の統治機構と三権分立について理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
22	地図帳学習 2	世界各国の大まかな場所、海洋の名称を把握する。	地図帳を確認する。中間試験に備える。
23	中間まとめ	後期の中間まとめとして試験を実施する。	
24	市民生活と法	個人と個人との間のルールを規定する、という民法の役割について理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
25	司法と人権	刑罰権の行使と被疑者・被告人の人権保障について理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
26	労働問題と法	労働者の権利と労働問題について理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
27	国際社会の仕組み	国際社会の成り立ちを大まかに把握する。	教科書を読み、小テストに備える。
28	国際社会の仕組み	国際社会の現状と課題について理解する。	教科書を読み、小テストに備える。
29	まとめ	これまでの学習内容を総括できる。	教科書や過去の小テストを確認し、期末試験に備える。
学年末試験			
30	答案返却・解答解説、全体の学習事項のまとめ、授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できるようになる。	
総 授 業 時 間 数			60 時間